

蒲添に

其旨古回帳も追し面創にあまロハ一ツ公の有  
待策も最早一時候後レの着あり遠かよ丸交

所行レシカス一ニあヤル一トを有

世評ニニ増國ノ外相ゴロキエスモ佐多主唱者

トナリ一其旨古創策ノ評定最子一者一たりと

カハ

其は露ふ一其海ニ頻るハスおに海峽一ノ半一

然ダネレ海峽の自由航路ヲ占めよう代り東國  
の益に益ヲ得定一増ハレク一部ニキリ伸  
レシ伊ハレハ一増ハレク由レハ佛ニ關レハ  
何ともありカレ共其土申國債ノ一割ハ分ハ  
佛の所有レシ一申レハ何カの配分ハ有レるとを有ハ  
右ニ世評一のレニレハ信御出オモ其共ハ  
近頃在土右國大使ノ右本國ニ継承一た  
と露其佛の土其古一關レハ帰後成リたり  
申ス節一の展ハレキ一認レシト殊ニ露國の木



僕ネリードローフ比ハ密不ニ師ニ好シ増々自外相と師  
後一たると密帝ハ其後ヲ好シたりと云  
ト又々英國ニモ密時國漢ナリ同キヤリ一トと云  
是際合るレハ田名洋臣モ何とカ来ニハ  
市ラスヤト云ハ

右ハ粗キカウ思ハ附キのまじヤ上ハ

別封置真一故を以テ其覚ハ甚一後時  
夫人極ニモ此一思ハる云々 別ニハ 大漢  
ニモ云ハ

船所モ命一以テ其日十日ナリト云ハ

コト一里昂巴里ニ何ハ思ハる云々  
ト一更ニ云ハ其意ハ先ハ有ニ云ハ  
云ハ

丁卯年 月 日 徳島

大隈伯閣下